CRL和英翻訳パートナー　トライアル受験要領

看護学 <https://www.crl.cloud/partners/doc/trial_nursing.docx>

作業仕様

1. トライアル回答は別ファイルに保存して提出してください。
2. トライアル回答には英語のみ記載してください（和英対訳形式ではありません）。
3. 使用フォントはTimes New Roman、サイズは12 pointでお願いします。
4. 訳出根拠の提示はコメントにて（本文への追記は厳禁）ソース情報を提示してください。

※トライアル回答・コメントに記載するテキストは、全て英語のみとします。

課題文（看護学）

本研究目的は、災害看護教育モデルを構築することであった。目的達成のために、①災害看護学の内容抽出と構造化をはかる、②基礎教育と卒後教育（現任教育と大学院教育）の各教育レベルにおける災害看護教育プログラム試案を作成する、③作成した災害看護教育プログラムの妥当性を検討する、の3目標を設定した。研究方法として、文献統合ならびにグループ討議を用いた。その結果、教育内容として７つの大項目、その下位に各２項目から６項目の中項目、更に小項目を設定した。学部・大学院・現任教育（スタッフナースレベル・看護管理者レベル）における教育目標を設定し、それに基づきカリキュラムモデルを作成した。看護基礎教育では必修2単位、選択2単位、計4単位の科目を設定した。大学院教育においては、災害看護専門看護師育成をめざして、日本看護系大学協議会の基準にのっとり、18単位分9科目を設定した。現任教育としては、スタッフナースと看護管理者を対象として、それぞれ1日半のコースを構築した。今後に向けて、構築した教育プログラムを試行しつつ精錬を続けること、災害看護教育専門家の育成を行うこと等が必要である。